



横浜市立太尾小学校

学校だより

令和3年度9月号

令和3年9月1日発行

＜ 豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子 ＞

我が振り返り見て 我が振り直せ

校長 館 雅之

予測困難な時代と言われていますが、それを実感する日々が続いているように思います。夏休みは当初計画されていたことが実行できなかったこともあったのではないのでしょうか。そのような中、「オリンピック」を通して、人間のすばらしさ、可能性を改めて感じたのは私だけではないでしょう。そして、「パラリンピック」ではさらにその思いを高めてることと思います。

一方、8月に入り、神奈川県内においても感染者数が驚くほど増加し、夏休み明けに先生や友達と再会することを楽しみにしていた子どもたちにとってはそれを延期せざるを得なくなるなど、まさに波乱の幕開けとなりました。

状況の変化の中で、これからも保護者の皆様には急な対応をお願いすることも多いと思いますが、引き続きご理解、ご協力をお願いします。

さて、ここ1年でオンライン会議や研修会が増えてきました。そして、参加する中であることに気が付きました。顔出しをして参加する研修会が多かったのでしょうか、自分の姿を常に自分で見る機会が増えたのです。ずっと鏡を見ていることはないでしょうし、自分が話をしていたり、相手の話を聞いていたりする姿を自分自身で見ていることは今までなかったことです。相手の話を聞いている時はどのような表情をしているのだろうか、頷くなどの反応はしているだろうか、その表情やしぐさはどのように受け取られるだろうか。自分の姿を自分で見て考えることをしていました。さらに参加している他の人の反応や表情も見えていますので、このような時にはこのような反応をするとわかりやすいなあ、このような表情をすると相手は安心するなあなど様々なことに気が付きます。「人の振り返り見て我が振り直せ」ということわざがありますが、「我が振り返り見て我が振り直せ」とも言えましょうか。

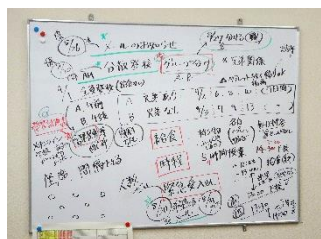
会議や研修会は短時間ではありませんので、これらのことを長時間続けていると、さらに自分への気付きが深まります。このような表情をしている自分はなぜだろうか、ここで反応する自分はどのようにしてそのような行動をするのだろうかなど、自分のことを少し遠くからある一定の時間の経過とともに見ることをしていたのです。

さて、現在、様々な状況の変化に対して、様々な考えがあります。それに伴い、自分自身の考えも変化したり、安易に賛否を言いたくなったりするものです。そのような時こそ、このような考えをしている自分を少し遠くからある一定の時間の経過で見ることが必要なのではないのでしょうか。自分自身の考え方の変化に気が付くだけに留まらず、考え方が変化した自分そのものを少し遠くから見たいこうという行為です。

今までの学校生活をそのまま続けようとするのは、今はなかなか難しいと考えます。常に変化し続けている中で学校生活になるでしょうが、このような考えで進めていこうと思います。

コロナ

防災研修を教職員で行いましたが、各グループの報告をオンラインで行いました。職員室で多くの人数で集まらないようにということで行いましたが、研修の様子を動画や写真で報告するなど今まで口頭で行っていたよりもわかりやすく、そして短時間でできたことも大きな変化であり、成果にもなりました。



8月26日に状況の変化により、急遽、横浜市立学校は1日からは分散登校になるという通知がきました。そして、本校の対応を考えなくてはいけなくなりました。校長、副校長と主幹教諭ですぐに検討を行いました。少人数で距離も確保できましたので集まってホワイトボードを使っての検討でした。アナログなのかもしれませんが、今までのこのような方法も重要なあと感じました。